

東京都市大学付属小学校

<3年生の授業> (6年生用のものを3年生の授業で使って楽しみました!)

使用したT&Lの箇所：6年生用Lesson6、3時間目「日本のお天気調べ」  
「えいごリアン」の“**How is the weather in Okinawa?**”を視聴した後に取り組んだ  
後の授業です。

子ども達は「えいごリアン」が大好き。いつも一回放送分(15分)を視聴した後に、その番組での基本表現に絡めた活動を行っている。これまで **How is the weather in Okinawa?**を視聴した後は、新聞のお天気欄を利用していたが、今回は、せっかくあるのだから、電子ボードを活用しようと思った。

始めは、**How is the weather in Sapporo?**とこちらから地名を指定し、子ども達に場所を探させ、ボードから天気の情報を知るという手順を踏んだ。ボード上に場所を早く見つけられた子どもには、地名のローマ字綴りを言ってもらったりして場所を皆で確認した。ちょうど3年生でローマ字を習っていたので、地名を読む練習になったようで、一生懸命取り組んでいた。“**How is the weather today?**”とボードが言うので、その後“...in Sapporo?”と教師が補足するという方法でもよいように思う。子どもと確認した場所をこちらがタッチしてお天気を聞きとり、そのお天気マークをボード上で移動させていく。お天気マークを教師が移動させていくのをじっと見ながら、日本地図上にお天気マークが次第に増えていく様子を楽しんでいた。南にある沖縄のお天気の時には、当然ボードの下の方にある沖縄まで、ボードの上にあるお天気マークをドラッグしていかなければならない。結構テクニックが必要、途中でスッとマークが戻ってしまうことがある。こんなことにも子どもは面白がってワイワイ言いながらの授業になった。

聞こえてきたお天気について、「え？なんだって？」とこちらが尋ねるように持つていくことで、子ども達に聞こえたお天気をはっきり発音させることができた。子ども達にとっては、聞こえてきた英語を繰り返すだけではあるが、教師にしっかり伝えようと、真剣に聞きとろうとしていた。徐々に、「どのお天気を聞きたい？」と言って、子どもに自分の好きな地名を選んでもらい、「どんなお天気だと思う？」**How is the weather in ( )?**と尋ねると、英語を使って予想したお天気を何とか表現しようとしていた。その上で、ボードの答えを聞くと、「えー？そんなはずはない!」「やっぱり当たった」などと応答。3年生なりに天気図の分布を考えている様子が興味深かった。